

# あいめーる

AUTUMN

## 季節の行事特集 愛隣館通信

平成 25 年 9 月 20 日発行  
発行  
社会福祉法人 愛隣園  
障害者支援施設 愛隣館  
発行責任者 三浦貴子  
編集 広報チーム  
キャリアビジョン

〒861-0551  
熊本県山鹿市津留 2022  
TEL 0968-43-2771  
FAX 0968-43-2793  
http://aileans.com  
E-mail  
ailinkan@magma.jp



(写真上・大宮神社通り於) 撮影：畠山浩史氏

### 目次

|                    |     |
|--------------------|-----|
| 山鹿灯籠祭「燈心会」         | 1   |
| 秋風が吹くと             | 2   |
| ヒューマンライツ委員会        | 2   |
| 震災復興支援シャツ等協力事業経過報告 | 2   |
| 愛隣館ボランティア受け入れ      | 3   |
| ルーテル学院大学ボランティア     | 3   |
| 愛隣館トイレ改修工事         | 3   |
| 季節の行事特集            | 4・5 |
| 新しい仲間              | 6   |
| 新人職員               | 6   |
| クローズアップ愛隣館⑦        | 6   |
| 実習を通して…            | 6   |
| 家族の声⑧              | 7   |
| 愛隣館とのかかわり          | 7   |
| ぴあハウススプリンクラー設置工事   | 7   |
| 田中鉄也写真展覧会          | 8   |
| さんぼ美術展お知らせ         | 8   |
| 社会福祉施設等指導監査        | 8   |

### 山鹿灯籠祭 「山鹿燈心会」

八月十六日(金)、午後十時、さくら湯前から大宮神社へ向けて、女性のみで構成された担ぎ手約三十名が、「はい、灯ろう」の掛け声と共に、奉納灯籠を担いで出発しました。

山鹿灯籠の長い歴史の中でも、女性だけの灯籠奉納は初めてのことです。

「山鹿燈心会」には、会を創設した三浦貴子館長(代表世話人)を始め、愛隣館の女性職員十人が参加。上がり灯籠で使用する新調の神輿(写真上)は、完成後一週間、愛隣館食堂のステージ上に、上がり灯籠前日まで保管されており、利用者や家族、来館した人々に祭りの雰囲気伝えていました。

秋風が吹くと



館長

三浦 貴子

愛隣館は月見の宴。今年も100を超える短歌と俳句が出そろって、選歌の日を待っています。

利用者、利用者のご家族、職員、元職員、地域の方々も時に参加。みなさまの想い、生活の一瞬を浮かべる句が、満月を彩る集いの時です。

テーブルには、すすきと、お団子と、信長の焼き鳥と、ピロシキと、選者有働先生の手づくり栗おこわ。今年のアウトラクションには第三者委員の猿渡弁護士が、ビッグバンドを呼んで下さっています。さぞにぎやかに、月も驚く宴となることでしょう。

全旨の方々が、何を見、そして何を見たいと思っておられるか、動かないお体のベッドから、心はどこへ向かっておられるのか?しみじみと伝わりあう中秋の集い。「今年の夏を乗りこえましたね、本当にお疲れさま」の気持ちから始まった行事です。無くてはならぬものとなりました。

秋風が吹くと、私の仕事も目白押し。一心不乱の秋となり、ふと気がつけばクリスマススー!のような例年を過ごしていますが、今年こそ季節を見る余裕を持って、厚労省サービス管理責任者指導者研修、内閣府障害者政策委員会、差別解消法の国の基本指針づくり議論、新障害者基本計画の広報等に取り組ん

で行きたいと考えています。

秋風が吹くと、本館トイレの改修工事が終わり、ケアホームびあハウスのスプリングクラー設置工事が始まります。みなさまの生活をひとつずつ快適に安全に、と願っております。

ヒューマン・ライツ委員会



地域福祉部

サービス管理責任者

辻 啓司

地域福祉部ヒューマンライツ委員会で取り組んでいる内容と今後について、お知らせ致します。

委員会活動は、主に過去の虐待事案や現場で気になる事案等を分析・検討し、虐待を未然に防ぐための委員会メンバーのスキルアップと、それを基に地域福祉部スタッフの虐待に対する意識向上のための勉強会等の企画運営を目的に活動しています。

同時に、利用者・利用者家族への法律の周知徹底を図るための資料配布やポスター掲示、家族報告会等での説明を行い、「いつでも言える」風通しの良い事業所の環境づくりに努めています。

障害者虐待は、日常の支援の中で発生します。「これくらいなら許される」「これくらいならいい」といった判断の積み重ねにより、支援の質が低下し、

負の支援が増加して、知らず知らずに虐待につながってしまいます。虐待はスタッフの小さな不適切な支援から始まります。

そのため委員会では、スタッフ自らが自己診断を行う「職員セルフチェックリスト」を活用し、自身の状況を知って自己改善を図ること、サービス利用者への聞き取り調査を実施し、その結果に添った勉強会を、計画的に実施して取り組んでいます。今後、当委員会では、障害者虐待防止法と関連する「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」(障害者差別解消法)についても取り上げて行きたいと考えています。

震災復興支援シャツ等  
協力事業経過報告

平成二十五年六月二十日〜平成二十五年九月三十日の期間で実施中の継続支援活動(震災復興支援シャツ等協力事業)の八月末迄での販売状況をご報告します。

Tシャツ、ポロシャツ、ベスト、エプロン合計枚数、4,568枚。ポストカード94セット、支援金合計金額2,290,700円(八月三十一日現在)皆様の支援に感謝します。

支援シャツ等の売り上げの一部は、ワンコインチャリティとして、東日本大震災の被災地に居住する障害のある人々、子ども達、難病の人々、及び、その支援を行なう人々、及び、機関の支援するために使われます。

## 愛隣館ボランティア受け入れ

愛隣館では、中学生から高校、大学、専門学生、福祉施設、養護学校の先生と、多方面からの、ボランティアを受け入れています。

七月九日(火)は、鶴城中学校の二年生、三十三名が一日ボランティアで愛隣館の各居室、廊下の窓ふき清掃をしていただきました。その後は、入居者の方と、オセロゲーム、風船バレー、ポッチャ等で



交流を深め、楽しい時間を過ごしました。

七月十八日(木)は、城北高校より、総勢四十四名がボランティアのため来訪しました。

生徒の皆さんは、あらゆる力仕事も難なくやっています。施設の外周から、窓ふき、廊下の掃除、中庭の側溝の清掃等、その中でも外の清掃は炎天下にも関わらず、キビキビとした動きで、あっという間に、任されていた個所の清掃を行って頂きました。本当にありがとうございます。

## ルーテル学院大学 ボランティア実習

八月二十六日(月)から三十日(金)、ルーテル学院大学より、竹中涼乃(三年)、竹中彩乃(一年)、宮崎明日伽(一年)、吉富彩奈(一年)四名のボランティア体験実習がありました。

「愛隣館では、五日間と短い期間ですが、体験実習を通して、利用者の皆さんと、陶芸や手芸、カラオケに参加したりと、楽しい時間を過ごすことができました。館内は何時も笑顔と笑い声が絶えなくて居心地の良い場所でした。また、職員の方々との間に



強い信頼関係を

感じることで、き、貴重な体験をさせて頂きました。ありがとうございます。ごさいます。」「(四人の感想)

最終日には、食堂ステージにて、竹中姉妹による三味線演奏のプレゼントがありました。

姉妹の三味線は幼い頃から習い始め、三年前からは千人灯籠の檣の上で地方(ちかた/伴奏者)を務められているとのこと。

## 愛隣館内トイレ改修工事

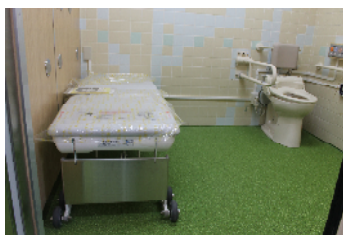
七月一日(月)より、館内各号館のトイレ改修工事が行われています。

改修にあたっては、予め入居者の方々に調査を行い、入居者にとって一番使いやすいトイレを図面化しました。七月末には三号館トイレ、八月末には、二号館トイレの改修が終了しました。

新しいトイレを使用してもらい、不具合が無いが、改善してほしい箇所は無いか、これから着工する一号館のトイレに反映できるように、入居者の声を取り入れ、改善できるところは、改善し、順次、トイレ改修を行っていきます。

一号館トイレ改修は九月末に終了予定です。

改修工事は三ヶ月に及びますので、利用者の方々には、トイレ使用や通行に際し、大変ご迷惑をお掛けすることになりますが、ご協力をお願いします。



(写真右)



(写真右)



三号館  
お座敷トイレ  
(写真左)

二号館  
ベッド付  
多機能型トイレ

二号館

車いす専用  
トイレ



# 季節行事 特集

## 季節の行事

愛隣館では、施設内外での季節に応じた行事・法人主催の年間行事などを開催しています。季節折々の行事を行うことで、社会体験を深め、親睦を図ります。

行事運営にあたっては、ボランティア導入を積極的に行います。また、地域住民を招き交流することで、障害者に対する理解を深め、地域社会の資源としての施設を認知してもらおう機会としています。



### 年始・初詣

元旦は、入居者のほとんどが食堂に集まり、手作りのお節でみんな揃った年始を迎えます。

また、一日と二日は、午前と午後に分かれ、愛隣館北側にある彦岳宮（下岳山麓にある彦岳宮）へお参り、愛隣館の一年が始まります。



### 七夕の集い

七夕に向けて入居部、デイケア、愛隣倶楽部、食堂と、それぞれ一週間ほどかけて短冊や七夕飾りの準備をします。

一年間の無病息災や家族の健康、みんなの願いで彩られた短冊でしなつた大竹が、この時期、館内を華やかにしています。

### クリスマスの集い

クリスマスの集いは、昭和二十五年法人の創設期から続く、イブの大切な祝会です。

早晩のディナー、手作りのアトラクション、クリスマスキャロリングなど、愛隣園の子ども達、地域の皆さんと共に祝います。

### 新年会

新しい年を迎え、食堂では、自治会主催の新年会が執り行われます。

水炊き、すき焼き等が用意され、各々が、好きな鍋を囲んで新年会が始まります。



### 節分

節分の日には、入居者職員が食堂に集い、その年の年男、年女が鬼に扮して、鬼は〜外、福は〜内〜のかけ声と共に、豆まきが執り行われます。



### 夏祭り

法人愛隣園の夏祭りには利用者、ご家族をはじめ、三岳地区の大勢の方々をお招きし催されます。

「愛隣夏祭り」は、利用者・地域が一体となり、毎年、夏の終わりを告げる三岳地区の祭りとして、地域の中につかりと根付いています。

### 月見の宴

月見の宴は、中秋の夜に催され、利用者、家族、職員みんなが短歌と俳句を詠みます。

選者は、お招きしたお客様、第三者委員の猿渡健司様、月足敏子様、有働真澄様、びあハウスご入居の河野敏之様へお願いし、作品を選んでいただきます。

その他、特別賞もあり、食事をしながら、秋の夕べを過ごします。



### 餅つき

年末恒例の餅つきは、一年の締めくくりです。

当日は、野外では昔ながらの臼と杵での餅つき、館内では機械による餅つきが見られます。

つきあがったお餅は、昼食に、あんこ餅に、きなこ餅などなど、思い思いの食べ方で、皆さん、楽しく過ごします。

### 家族報告会

それぞれの利用者家族を対象に、年次報告を中心とした家族報告会が開催されます。

施設入居者は、バシントン家族報告会。在宅利用者は地域福祉部家族報告会。



### 花見会

花見は、入居棟と地域福祉部に分かれて執り行われます。

入居棟では愛隣館の大きく育った桜の木の下。地域福祉部は、山鹿力ルチャーセンターでの花見が恒例となっています。



### 地域福祉部忘年会

地域福祉部では合同忘年会を開催しています。

当日は、地域福祉部の利用者・ご家族・職員、合わせ百名を超える方が参加。

お弁当を広げて、仲間や家族との会話を楽しみ、カラオケ大会では自慢の喉を披露。

そして、最後のプレゼント抽選会をみんな楽しみにしています。





入居者

西阪 邦芳

★新しい仲間

私は交通事故で障害者になりました。よって、皆様も交通事故を起こさないで下さい。

『嗚呼！漢字』 詩

実にへたくそな文字。全然、段落の無い文章。美しいかな。自分で読み返しても何を書いたのか…。そして、俺の書く文字は…。嗚呼、実に不可解だ。

この日記を書き綴るのに、今の俺はどのくらいの時間を要するのだ。作家ならこの位の文章ならみんな書けるのだ。今日の日記書きも、俺が一番始めに書き綴った文章と違うようだ。また、この日記書きで昔の俺のように仰山の漢字を覚えたいな。

辞書を作った人はどんな覚え方をして仰山の文字を覚えただんだ。俺はこの日記を自分の知っている漢字で書き綴りたい。嗚呼、俺は漢字を覚えたい。

● 新人職員紹介



デイケア部

木下 由妃

平成二十五年七月一日から、デイケアに勤務しています。

平成二年二月二十六日生まれ二十三歳。うお座のA型です。

私には、四歳と一歳の娘がいます。私自身も小柄ですが、更に小さな存在に毎日、元気を貰っています。私の好きな事は、マンガ、ワンピースを読んだり、ビールを飲む事。都市伝説を調べたりすることも好きです。私が目標にしている事は、いつも笑顔で元氣よく、一日一日を過ごしていく事です。

一人でも多くの人に出会い、一つでも多くの事を学び、沢山の方々の笑顔を見れるように、愛隣館で頑張っていきたいと思えます。

どうぞよろしくお願ひします!!!

● クローズアップ愛隣館⑦



生活サービス部

アドバイザー

川上 むつ子

私は入居部が五十名から七十名へ増床した、平成三年より、介護職として二十二年間お世話になってます。

当時、私の家は四世代同居で、周りの友人からは「家も大変なのに、外でも介護の仕事するの!？」と、言われた事があります。でも私は人と接する事が好きで、又、合っているんでしょね!!この仕

事をして、きついか、嫌だったか思った事はありません。幸いにも体も丈夫であり、寝込んだこともないように思います。

二十二年間も一緒に居ると、家族の様に思えます。そして沢山の人達と出会い、沢山の方との別れもあり涙しました。そして入居者の笑顔や声かけにずい分助けられました。私は、この仕事をしてきて本当に良かったって思うし、感謝しています。

年数は行ってますが、若い人達には負けないくらいのパワーはまだあります。あと少しだけ、入居者のために頑張りたいと思います。よろしくお願ひします。

● 実習を通して…



九州看護福祉大学四年

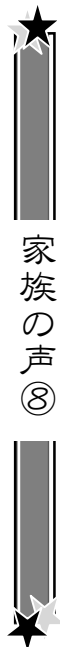
田中 美幸

八月五日〜九月六日の五週間、相談援助実習をさせて頂いていただいています。九州看護福祉大学社会福祉学科四年の田中美幸です。

私は現在、社会福祉士を目指して勉強をしています。実習では、社会福祉士の役割やあり方について具体的に学びたいと思っています。

愛隣館での実習を通し、社会福祉士としての仕事の大変さや難しさを知りました。それと同時に、や

りがいを強く感じる事ができました。利用者の方々  
とたくさん関わりを持つことで。私の社会福祉士と  
しての目標が、より一層明確になったと思います。  
この経験をしっかりと生かし、目指す社会福祉士  
になれるように頑張ります。  
ありがとうございました。



家族の声 ⑧

愛隣館デイケア 井上恵一 (妻)

井上 幸子

不慮の事故で障がいの残る体になった主人と歩  
んで丸五年。先の見えない不安でいっぱいだった頃、  
愛隣館の相談員さんに出会い、デイケアを利用する  
ことで私は救われる思いでした。

最初、ぎこちなかった主人も温かいスタッフの皆  
さんのお陰  
で喜んで出  
かけるよう  
になりました。  
た。

「きつい時  
や、何かあれ  
ばいつでも  
お預かりし  
ますよ。」の



優しい声かけに甘え、時にはショートステイも願  
いしています。

主人には年に一度の障がい者スポーツ大会参加  
という大きな目標が出来、増々、楽しんで愛隣館に  
通っております。これもまた、練習に付き合っ  
て下さるスタッフの方々のお陰なのです。

お父さん、生きていて本当によかったネ！

愛隣館とのかかわり



三協車椅子製作所

藤本 英輝

私が愛隣館の担当になるきっかけとなったのが  
十年前、以前からお付き合いがあった愛隣館を引き  
継がせて頂いた事でした。最初は言われる事をする  
だけで精一杯でしたが、利用者様から「こうして欲  
しい」との声を頂くようになり、改めて使う人の身  
になって考える事を学ばせて頂きました。

お付き合いする中で使わなくなった車椅子を整  
備し、ベトナムに送られている事、現地での身体の  
不自由な方の現状を聞き、「私にできる事はないか」  
と思うようになり、微力ながら支援のお手伝いをさ  
せて頂いています。

今では、利用者様や三浦館長をはじめ、職員様が

ら温かく接してもらい、恒例の夏祭りなど毎年参加  
させて頂いています。私自身色々な面で成長させて  
頂いた愛隣館とのつながりを今後も大切にしてい  
きたいと思っています。

まだまだ半人前ですが、今後とも宜しくお願いし  
ます。

ぴあハウススプリンクラー設置工事

本年度十月～三月の予定で、ぴあハウス内のス  
プリンクラー設備設置工事が行われます。

本工事は、平成二十三年度十一月～二月にかけて  
施工した本館スプリンクラー設備設置工事に続い  
て行われるものです。

本事業は熊本県障がい者福祉施設耐震化等特別  
対策事業(スプリンクラー整備事業)からの補助を  
得て行われます。

工事に際して  
は、安全第一に行  
っておりますが、  
工事箇所によっ  
ては利用者の皆  
様にご迷惑をお  
かけすることに  
なりますが、ご協  
力をお願いしま  
す。



★ 田中鉄也写真展覧会を終えて ★

八月十五日(木)～二十一日(水)、豊前街道沿いの古民家ギャラリー百花草にて愛隣倶楽部利用者の田中鉄也さんが撮影した写真を展示した「縁」が盛況のうちに無事終了しました。

この度の田中さんの写真展のことは、七月三十一日付の熊本日日新聞にも取り上げられ、展示作品の中から二点の作品が紹介されていました。



百点余りの作品を大勢の皆様にご覧いただいたことが、意味のある大きな取り組みとなりました。「大きな励みになった。これから沢山の写真を撮り続けたい」とのことです。

次回の写真展でも、創造性豊かな田中さんの作品を期待しています。

■ さんぽ美術展お知らせ ■

十一月十五日(金)～十七日(日)、旧豊前街道沿い、吉田酒造場跡天聴(中蔵)にて、地域活動支援センターびあびあの絵手紙教室と、愛隣館日中

活動パステルアート(愛隣館ゆびさきアートの仲間たち)の作品展が開催されます。

一般の絵手紙作家さんにも協力をお願いする予定です。

皆様のお越しをお待ちしております。



主催：山鹿湯の端美術会

後援：山鹿市／山鹿市教育委員会

■ 社会福祉施設等指導監査 ■

八月二十三日(金)、熊本県健康福祉部長寿社会局社会福祉課指導監査班より三名の方がお見えになり、平成二十五年度社会福祉施設等指導監査が実施されました。

監査の対象は、障害者支援施設「愛隣館」、同一敷地内の指定障害福祉サービス事業所・デイケア、相談支援事業所、居宅介護事業所、短期入所事業所です。

指導監査へ向けて、日々の業務に追われて不十分になっていた書類を見直し、古くなった分をまとめたりと準備に備えてまいりました。監査後は三名の監査班からそれぞれ細やかな講評をいただきました。

た。

今後はご指摘をいただきました点を見つめなおし、より良いサービス提供への力をしてまいりますと思います。ありがとうございます。

■ 法人愛隣園理事会 ■

八月十二日(月)、お隣の軽費老人ホーム「愛隣荘」にて社会福祉法人愛隣園理事会が開催されました。理事・評議員の皆さんより、スプリングラー等の施設整備と補正予算についての承認を得ました。

■ 編集後記 ■

秋号は「季節の行事特集」です。愛隣館では年間を通して、四季折々の様々な行事を催しています。

特集で紹介した以外にも、春には熊本県障がい者スポーツ大会秋には山鹿・植木音楽祭等施設の内外の行事に参加しています。

大きなイベントとしては、愛隣夏祭り、クリスマスを集いを愛隣園の全施設合同で開催し、大勢の地域の方をお招きしています。

今夏は、県北を中心に大雨となり、県内全域に大雨洪水警報や土砂災害警戒情報が出た、テレビの緊急速報で流れていました。

二十四日(土)に開催された、法人愛隣園夏祭りも、大雨のため、屋内へ変更するなど、大きな影響を残しました。